



主な内容

市民三学運動	2 ~ 7
お知らせ	8 ~ 9
声・掲示板	10 ~ 11
情報BOX	12 ~ 15
えな自慢	16

今月の写真

第9回恵那峡ハーフマラソンが、4月18日、クリスタルパーク恵那スケート場を発着点に開催されました。春風が吹く晴天の中、市内外から大会最多の2,176人のランナーが参加。日本陸上競技連盟公認コースのハーフマラソンでは、昨年に続き松山克敏選手(36歳・長野県松川町)が優勝しました。

生涯学び続ける三学の精神

市民三学運動が

始まります

市では、生涯学習を進めるため、三学のまち推進計画を策定しました。

この計画は、郷土の先人、佐藤一斎の三学の精神を理念としています。三学の精神とは、社会に役立つ人になろうと、生涯学び続ける志であり、子どもも大人も高齢者も、みんな学んで幸せになろうとする佐藤一斎の精神です。この理念をもとに、「読書のすすめ」「求めて学ぶ」「学んで生かす」を三つの柱とした市民三学運動を進めていきます。

生涯学習には、自己の教養や技能を高める「個人の創造」と、地域の課題を解決し、豊かな地域社会を創る「地域の創造」の2つの目的があります。この2つが結び合うことによって、個人の生きがいや地域のパワーへと変わります。これが、市が目指す生涯学習のまちづくりです。

今回は、この市民三学運動について、お知らせします。

問い合わせ 社会教育課 43 2112

大井小学校では、全校児童が朝読書を行っている



「少にして学べば

則ち壮にして為す有り

壮にして学べば 則ち老いて衰えず

老いて学べば 則ち死して朽ちず

【言志晩録六十条】

学び合う計画を策定

市では、子どもも大人も高齢者も、ともに学び、学んだことを生かし合えるまちをつくらうと、昨年6月に生涯学習都市宣言策定市民委員会を立ち上げました。そして、市長から市民委員会に対し、生涯学習に関する宣言と推進計画の策定を諮問しました。

市民委員会では、昨年3月に行った素案のパブリックコメントや、13地域自治区で開



歴史を学ぶ史跡めぐりウォーキング

催した意見交換会、アンケートなどを参考に審議を重ねてきました。市では、ことし2月にいただいた答申を基に、計画を策定しました。

計画期間は平成22年度から平成26年度までの5年間。以後、5年ごとに見直しを図っていきます。

三学の精神を理念に

市には、豊かな自然や歴史、文化、そして何よりも英知にあふれ、人情豊かな市民という、素晴らしい財産があります。加えて、これまでこのまちを築き上げ、つなぎ続けてきた多くの先人がいます。こうした先人の知恵に学び、自己を磨き、生かし合うことが、自らの幸せにもつながり、地域の幸せにもつながります。郷土の先人、佐藤一斎の説く人生や学びは、志、意欲と

生涯学習の目的は、自ら学習する力を身に付けて、自己を高めます。それによって、自らが目標とする自分らしい生き方を実現する個人を創造することにあります。さらに、もう一つの目的として、地域の課題を解決し、豊かな地域社会を創造することにあります。

個人の力を地域へ

このように、個人の創造と地域の創造の二つの目的が、生涯学習にはあります。これが重なり、影響し合うことで、個人の生きがいや地域の

で、個人の生きがいや地域のパワーに変わります。これが、市が目指す生涯学習のまちづくりです。

市民と市民をつなぐ

三学運動は、市民と市民をつなぐ、大きな輪を広げることになります。合併した新しいまちを、さらに住み良い誇りの持てる市へと導き、次代を担う、子どもたちの未来をつくりたい。

三学の精神とは「社会に役立つ有為な人になろうと、生涯学び続ける志」です。これは岩村藩出身の儒学者佐藤一斎の言葉で、「三学戒」と呼ばれています。今回、答申をいただいた市民委員会では、これを「三学の精神」と呼び、市民三学運動の理念としました。【言志晩録六十条】少、壮、老と、生涯を通じて社会に役立つ、有為な人になろうと志を持って学べば、その精神は朽ちることがない。



没後150年に当たる昨年の言志祭には、佐藤一斎をしので小泉純一郎元首相も参列した

佐藤一斎は、1772（安永元）年、岩村藩士の二男として江戸藩邸で生まれました。儒学を修め、70歳のときに昌平坂学問所の幕府御儒者に任ぜられ、門下生は3千人とも言われています。

亡くなるまでの後半生に書いた四つの著書『言志四録』は、人生の道しるべとも言うべきもので、幕末の志士たちに多大な影響を与えました。特に、西郷隆盛は『言志四録』の中から101条を抜粋し、座右の銘として常に持ち歩いたと言われています。小泉元首相は、言志四録の「三学戒」を引用し、在任中の国会答弁で生涯学習の大切さについて発言しました。

この『言志四録』は、時代を超えて、今なお多くの人に読み継がれています。

イベントの案内

展示会

三学の精神 佐藤一斎展

とき 5月28日(金)～6月23日(水)

ところ 市中央図書館2階郷土フロア

展示内容 佐藤一斎の人物像と教えを紹介するパネル、書物、掛け軸などの展示

講演会

「言志四録」の心と 今求められる「三学の精神」

とき 6月4日(金)午後7時半～9時

ところ 恵那文化センター

講師 窪田哲夫氏（佐藤一斎言志四録普及特命大使・恵那観光大使）

入場料 無料



市中央図書館は、市民の学習拠点となっている。昨年度の来館者は約24万3千人と貸出利用者は、約7万7千人。貸出利用冊数は、約36万9千冊を数える。市内の学校図書館や公民館との連携を強化し、読書のまちの中心的な役割を担う

市を挙げて生涯学習に取り組むためには、市民一人一人の学ぶ意欲を育むことが重要です。市民の誰もが目標を持って、いつでもどこでも主体的に学びができるよう、必要な支援を進めます。

重点事業の「地域の生涯学習拠点となる公民館の再活性化」では、読書とともに、身近な学習の場である公民館を、さらに地域に結び付くように充実させます。また、先人の思いに学ぶ学習として、先人フォーラムや講演会、学習会を開きます。

柱二 求めて学ぶ

市民の意欲を育む

重点事業

- 地域の生涯学習拠点となる公民館の再活性化**
生涯学習推進員の設置、市民三学・市民講座の充実、市民三学・自主企画講座の実施、定年退職者等公民館デビュー講座の開講〈65歳の招待状〉、生きがい大学分校・高齢者大学・学級の推進
- 先人学習の推進**
先人フォーラム・講演会・学習会の開催、先人顕彰活動の支援
- 学校における先人教育の推進**
先人教育教材の開発と活用、先人教育教員研修、中央図書館郷土学習指導員との連携
- 家庭教育支援計画「ステップ親子学びプラン」の実施**
乳幼児学級、放課後子ども教室、その他の家庭教育支援
- 青少年の育成支援**
青少年育成市民会議・町民会議の支援、子ども会活動の支援
- 文化活動の推進**
- 生涯スポーツの振興**
地域スポーツ推進体制の充実、スポーツ機会の拡充、スポーツ施設等予約収納システムの導入、スポーツ振興計画の策定
- 人権教育の推進**

柱一 読書のすすめ

読書のまちをつくる

読書は、私たちの知的好奇心を満たし、豊かな感性を育みます。そして、あらゆる学習のベースとなるものです。

市中央図書館を、学びや読書推進の中心的な場として、地区公民館や小中学校とのネットワークを強化します。

連携しながら、生涯を通じて、楽しく学ぶことができる「読書のまち」をつくりたい。

重点事業の「25歳の絵本事業」では、子どもたちにぜひ出合ってもらいたい、25年以上読み継がれた絵本の名作を保育園や幼稚園に配ります。朝読書に活用して、子どもの読書の基礎づくりを進めます。



全員で物語を聞く読み聞かせ

重点事業

恵那市読書の日（毎月第3日曜日）の設置

- 中央図書館「生涯学習情報コーナー」の設置
- 中央図書館「郷土フロア」、図書資料の充実
- 中央図書館と公民館、学校図書館を結ぶネットワークの強化
- 読書活動推進組織（ブックサポーター）の設置
- 子どもの読書活動推進計画の実施
(25歳の絵本事業、学校読書活動の推進、巡回学校図書館司書の設置、子ども司書講座の開講、ブックスタート・セカンドメッセージ事業)

読書は学びの原点

生涯学習都市宣言策定市民委員会
鈴木隆一副委員長

すずきりゅういち
市教育委員会委員長、佐藤一斎顕彰会会長

人 生では、学び続けることが大切です。人間は、知的好奇心旺盛な生き物です。同じ文章を読んでも、人によってそれぞれ、いろんな解釈があります。そんな中で、他人と自分を比較するのも一つの学びです。20世紀は物の時代でした。この反省から、21世紀は心の時代といわれています。この心を育てるには、学びが大切となります。

最 も基本的なことは、読書です。読書は、学びの原点。読書をするだけで、他人の人生が分かり、考え方も分かる。また、歴史書では、時代を超えることもできます。心の栄養にもなります。市内の幼・保育園、小中学校の朝

読 書を通じて、市民の皆さんと一緒に「なぜ、学ぶのか？なぜ、生きるのか？」を考えていきたい。そして、一人一人の人生の中で、その答えを見つけていきたいものです。

佐 藤一斎は、約200年前に書かれた言志四録の中で、多くの言葉を残しました。ここに、人間の生き方、在り方などの教えが、数多くあります。これが、今でも共感を呼ぶ。このことが素晴らしいのです。

読書を広げていきたいと考えています。朝読書は、国語や算数の読解力が増したり、落ち着きが出たりなどの事例が報告されています。

柱三 学んで生かす

― 地域社会に還元する

生涯学習は自己を磨き、視野を広げ、社会性を身に付けることで、「生きる力」と「社会を担う力」を育てます。生涯学習で得た成果をまちづくりやボランティアなどで地域や、社会に還元し、その活動から生まれた新たな課題を学習します。こうした学習サイクルの仕組みを構築します。

重点事業の「市民三学地域塾の開講」を、市民三学地域委員会への委託事業として、地域自治体や公民館と連携しながら進めます。また、学んだことを、地域で生かせる場として、「地域自治体の活動支援」を進めます。

重点事業

- **恵那市市民三学運動推進委員会・地域委員会の設立**
計画推進を協議する委員会、13地域に運動を広げる地域委員会
- **市民三学地域塾の開講**
市民三学地域委員会への委託事業、自由な発想により開催
- **ボランティア活動の推進**
ボランポネットえなの活用、リーダーの育成・ネットワークの構築、「公民館に学んで生かそう」登録
- **生涯学習手帳の交付**
さまざまな学習情報の掲載、個人の学習履歴の記入
- **地域自治体の活動支援**
地域づくり補助事業、地域自治体活動事例発表会、各種研修会・地域間交流の開催
- **協働のまちづくり**
協働のまちづくり推進、市民提案型・行政提案型協働事業の実施、広報広聴活動の充実
- **市民活動の推進**
まちづくり学習の充実、まちづくり市民協会への支援

市民三学運動推進委員会



推進委員会の設立を答申した策定市民委員会での会議の様子

第1回市民三学運動推進委員会を5月12日(水)に、開催する予定です。この委員会は、本計画を答申した生涯学習都市宣言策定市民委員会の方々を中心に36名の委員で発足するものです。

主な活動としては、市民三学運動の推進役として、計画の進行管理や事業を推進するための協議などを行います。

生涯学習は、市民の皆さんが主体的に取り組むものであり、息長く続けていくものです。事業の推進に当たり同委員会を中心に、協働する市民の皆さんの意見を伺いながら、着実な展開を図っていきます。

まちづくり実行組織

- 大井町まちづくり協議会
- 長島町まちづくり委員会
- 東野まちづくり委員会
- みさと振興委員会
- 武並町まちづくり町会議
- 笠置町活性化委員会
- 中野方まちづくり委員会
- 飯地町まちづくり委員会
- 城下町ホットいわむら
- NPO法人まちづくり山岡
- あけまちづくりフォーラム
- 串原地域づくり住民会議
- 上矢作町まちづくり委員会

収穫祭での交流の様子



活動するまちづくり実行組織

市内には13の地域自治体があります。ここでは、地域の課題を解決し、住みよいまちをつくるうち、地域の実情に応じた、さまざまな活動をしています。

左の表に上げたまちづくり実行組織は、地域協議会が掲げる目標を実現するための活動団体。実行組織の構成員は、地域住民です。学んで得た知識、技術を生かせる場所となっており、人づくり、まちづくりへと、さらに活躍が期待されます。



みさと振興委員会による、「茅葺きの家」のふき替え作業。多くの人によって保存されている

三学運動の展開

市民三学運動は、市民の学ぶ意欲を育て、個人の生きがいや地域のパワーに変えるという事です。

「三学の精神」をよりどころに、子どもから高齢者までの市民運動として、ことさらに、22項目の事業について重点的に取り組むことで、市民三学運動の展開を図ります。

運動を支える事業

市民三学運動を支えるために、まずは、次のことを始めます。

- 子どもの朝読書を推進
生涯学び続ける基本をつくるために、市内すべての保育園や幼稚園、小中学校で朝読書に取り組みます。併せて家庭読書の推進を図ります。
- 先人言録・30傑を作成
先人の思いを学ぶために、先人言録(仮称)、郷土を支えた先人30傑(仮称)などをまとめ、市民に配布し、先人への共通理解を深めます。
- 市民三学地域塾を開講
地域の力で生涯学習を進めるために、市内の13地域で、

市民の手による市民三学地域塾を開講します。

三学のまち宣言

市を挙げて、生涯学習のまちづくりを進めていくために「恵那市三学のまち宣言」の制定を計画しています。三学運動の展開を図り、生涯学習の機運を盛り上げながら、制定していく予定です。

三学のまち推進計画の全文は、市ホームページ (<http://www.city.ana.jp>) に掲載されています。社会教育課、各振興事務所、市中央図書館、情報公開コーナーでもご覧いただけます。



市民講座のギター・マンダリン教室

学ぶ喜びの輪を広げたい

インタビュー

学ぶことの喜びとは、どういうものなのか。生涯学習の計画を運動に変えていくため、市民への思いを語っていただきました。

生涯学習都市宣言策定市民委員会

近藤 慎平 委員長



こんどうしんべい
小中学校長、瑞浪市教育長を経て、市公民館運営審議会委員

市 民の皆さんに、学びが欲しいと感じて欲しいと考えました。個人ではなく、人と人をつなぐ学習。それが生きがいにつながる。しかし、これは押し付けではなく、自然と醸し出す土壌が必要で、喜びの質を高め、深める。そんな営みを続けていく計画を目指しました。

電 車の中で、ある親子のこんな風景を見ました。お母さんが、本を取り出し、子どもに読んであげていました。親子読書です。子どもも、じつと聞いています。一通り読み終わると、お母さん

は、今度は、自分の本を読み始めます。子どもも、自分の本を読み始めました。そういう姿が日常の家庭にある。このことが、学び合いの原風景だと思えます。読書から、お互いが結びつく活動。これが生活の中に、すっと入ってきている。そして、近所や友人の小さな輪になる。さらに広がり、市全体の輪となれば、素晴らしいと思えました。

計 画を進めていく上で、生涯学習は、自分だけのものではない。この気持ちを生み出さないと、広がっていきません。「自分だけでいい」と

いうのは、本当の満足なのでしょうか。自分の活動に対して、人が評価してくれたり、賛同してくれたりする。これが本当の喜びだと思います。体感することが、大切です。

生 きが、学びが、市民の皆さんに、見つけていただく。そのための支援策も用意しました。ある方が「生きることは、つくり出すこと」と教えてくれました。

生涯学習で、自分をつくる。仲間をつくる。そしてまちをつくる。つくり出すことに生きがいをもっていただければ幸いです。

募集

国勢調査の調査員

ことし10月1日、全国一斉に実施される国勢調査の調査員を募集します。

国勢調査は5年に1度行われる調査です。市では約1万9千世帯、約5万5千人が調査の対象です。皆さんの申し込みを、お待ちしております。

募集人数 262人

仕事の内容 調査員事務説明会への出席。担当調査区の確認、調査票の配布と回収。調査票の点検と提出。1調査員当たり、50から100世帯程度（地区により若干異なります）。

調査の期間 9月下旬 10月下旬

資格 市内に居住し、20歳から70歳くらいで、調査活動ができる健康な方。調査で知り得たことなど、秘密の保持ができる方。警察、選挙、税務事務に従事していない方。

報酬 例えば、調査区が50

世帯の場合、約3万5千円
申し込み方法 氏名、生年月日、住所、電話番号、職業を記入し（用紙の指定はありません）、郵送、フアックスまたは電話で、企画課統計担当まで申し込みください。

締め切り 5月31日(月)

問 企画課 内線380(25) 6150



「恵那の味・伝承講座」の受講生

農家で代々受け継がれてきた伝統の味と、その良さを直してみませんか。

とき 午前9時半 午後1時(A・Bコースとも)

ところ アグリパーク恵那総合管理センター

定員 各コース15人(定員になり次第締め切り)

講師 地元女性グループ
資格 6月から計10回の講

案内

肢体の不自由な方の診断と相談

県身体障害者更生相談所では、肢体の不自由な方を対象とした医療相談や補装具(車いす、装具など)の交付・修理のための、相談や判定を実施します。診断や相談のある方は、お出掛けください。

とき 5月11日(火)午後2時4時(受け付けは3時半まで)
ところ 市福祉センター
診断科目 整形
費用 無料
持ち物 身体障害者手帳、印鑑

療育手帳に関する診断と相談

県では、知的障がいがある方の療育手帳の交付や、更新などの、診断や相談を行います。ご希望の方は、お申し込みください。

【18歳以上の方】

とき 5月13日(木)午前10時午後3時
ところ 市役所会議棟
県知的障害者更生相談所が実施します
【18歳未満の方】
とき 5月24日(月)午前9時半 午後3時
ところ 市役所会議棟
東濃子ども相談センターが実施します
【共通】
費用 無料
持ち物 療育手帳(お持ちの方)、印鑑

問 社会福祉課(内線134) 印鑑
費用 無料
持ち物 身体障害者手帳、印鑑

自動車税の納期限は5月31日です

自動車税は、納期限までに必ず、金融機関やコンビニエンスストアなどで納付してください。

携帯電話やパソコンから、クレジットカードによる納付も可能です。(詳しくは納税通知書裏面と同封の説明書をご覧ください)
問 県東濃県税事務所 0572 231111(代表)

案内

次世代育成支援行動計画(後期計画)を策定

急速に進む少子化に歯止めをかけることを最終的な目的として、平成16年度に策定された市次世代育成支援行動計画の前期計画(計画期間は17年度～21年度)。

計画の最終年度の昨年度、子育て中の方や子育て支援を行っている方、地域組織の代表者などの14人で、市次世代育成支援市民会議を編成。ここでは、前期計画を検証し、アンケートなどを参考に、本年度から5年間の後期計画が策定されました。

少子化対策の取り組み

計画は、『みんなで育もう さらさら 恵那の宝』として残そう恵那の宝を基本理念として、実現のため6つの基本目標を掲げるとともに、それぞれ達成に向けた重点目標も設定しました。その重点目標に沿った施策や123の事業に取り組むことにより、

着実な推進を図ります。また前期計画に引き続き、主要事業に数値目標を設定。このこと、後期計画の進捗状況を把握や、検証がしやすくなっています。下表は、保育系主要事業の平成20年度実績値と、26年度目標値を示したものです。各年度で評価して改善。計画期間の5カ年、毎年度の事業実績や、実施上の問題点や課題、利用者の要望などを把握。それらを評価して、事業の見直しや、改善につなげていく進行管理を行っていきます。事業の評価などは、市で実施した後に、市民の皆さんから意見をいただいたり、市民会議で検証したりします。概要版は、企画課ふるさと活力推進室で希望者に配布しています。また計画書は、市役所3階の情報公開コーナーや市中央図書館、こども元気プラザ、各振興事務所、市ホームページ(<http://www.city.yana.g.jp/>)などで閲覧できます。

問 企画課ふるさと活力推進室(内線381・382)

事業名	平成20年度 実施実績	平成26年度 目標事業量
通常保育事業	16カ所 (1,117人)	15カ所
低年齢児保育事業	14カ所 (206人)	14カ所
延長保育事業	16カ所 (延べ1,821人)	15カ所
休日保育事業	未実施	1カ所
一時保育事業	3カ所 (1,052人)	3カ所
病児・病後児保育事業(施設型)	未実施	1カ所
ショートステイ事業	1カ所 (延べ0日)	2カ所
夜間養護等事業(トワイライトステイ)	1カ所 (延べ0日)	2カ所
放課後児童健全育成事業(通年)	6カ所 (163人)	6カ所
放課後児童健全育成事業(季節)	2カ所 (45人)	9カ所
ファミリーサポートセンター事業	2カ所 (延べ424件) (登録会員365人)	2カ所 (延べ600件) (登録会員500人)
子育て支援センター事業	8カ所 (延べ24,050人)	7カ所
つどいの広場事業	2カ所 (延べ5,069人)	4カ所
放課後子ども教室推進事業	5カ所	14カ所

春季特別企画展

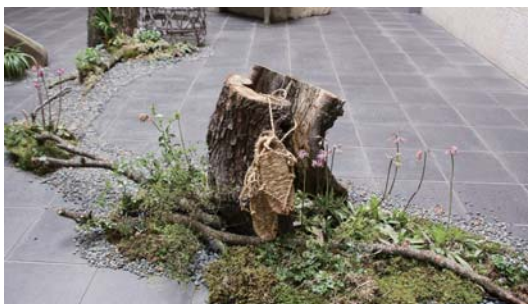
6/13(日)まで

前期: 5/9(日)まで
後期: 5/13(木)～6/13(日)

中山道広重美術館

「木曾路・大正村の父 文芸写真家 澤田正春」
「東海道五拾三次之内 違いを楽しむ」

大正100年イベントとして、木曾路、大正村の父、澤田正春氏(大正7年～平成4年)の写真展を開催。合わせて、刷られた時期が異なる二つの保永堂版東海道を見比べていただく、「東海道五拾三次之内 - 違いを楽しむ -」の特別企画展も開催しています。



美術館ボランティアの田口美津子さんが制作した澤田正春氏の写真『鳥居峠』のオブジェ(美術館中庭)

5月2日(日)・6月6日(日)は市民の日(市民に限り観覧料が無料です。市民の皆さんは、当日、受付係に「恵那市民です」とお伝えください)

問 中山道広重美術館 ☎ 20-0522

声

保育園に入園できるか不安です

ことし9月に出産を予定しています。育児休暇を1年取得した後、会社に復帰するつもりです。ちゃんと保育園に子どもを預けられるのかどうか不安でたまりません。待機児童が多いと聞きます。待機のために、会社に復帰するのが遅れると、収入的にもきつくなります。なんとかありませんか。9月に出産して、1年後に保育園に行けるようにするには、いつ、どこで、どのように手続きをすればいいですか。

(匿名・長島町)

答

昨今の経済事情により、特に3歳未満児の保育ニーズが高くなっています。現在、10人ほどの待機児童がいます。各保育園の入園を希望する児童数が定員を超えてしまう場合は、該当する年齢のお子さんについて、入園の抽選を行うことがあります。抽選に漏れてしまったお子さん(待機児童)には、近隣の入園可能な保育園を紹介するなど、相談をさせていただきます。

また、できるだけ多くのお子さんに入園いただくため、毎年、臨時保育士の募集を行います。保育士の確保に努めます。

保育園の入園手続きは、毎年10月の受付期間に、来年の4月から1月4日までの途中入園の入園受け付けを行っています。受付期間内に希望の保育園に、お子さんを連れて行き、入園申込書を提出してください。

入園受け付けに関する詳細は、本紙9月15日号か市のホームページに掲載しますので、ご確認ください。



(子育て支援課)

みんなの 掲示板

父子家庭の祖父母会

とき 5月12日(水)午前10時～正午
ところ 市共同福祉会館

☎ 露木淳子 ☎26-2660

第2回中山道大井宿しぶろく市

江戸日本橋から数えて46番目の宿場町、400年の歴史をもつ大井宿で、「第2回中山道大井宿しぶろく市」を開催します。当日は、県出身のプロサックス奏者粥川なつ紀さんが出演するジャズコンサートも開催します。皆さん、ぜひ、お越しください。

とき 5月15日(土)午前10時～午後2時(小雨決行)

ところ まちなか多目的防災広場

内容 朝採れたての野菜を販売する軽トラ市、恵那の味じまん市、子どもが遊べる輪投げ・サイコロ投げなど

粥川なつ紀ジャズコンサート 午前11時～11時半(雨天中止)

☎ 中山道大井宿しぶろく市実行委員会事務局(恵那商工会議所内) ☎26-1211

市まちづくり市民協会 総会と市民活動助成事業の発表

市まちづくり市民協会総会と、市まちづくり活動推進助成事業の事業内容発表を行います。本年度助成を受ける、市内のまちづくり活動団体の発

表です。まちづくりに興味のある方など、ぜひ、お越しください。

とき 5月23日(日)午後1時半

ところ 市共同福祉会館 集会室

☎ 市まちづくり市民協会事務局 ☎20-0657(内線644)

日本大正村バラ祭り

日本大正村でバラ祭りを開催します。数百種類のバラが皆さんをお待ちしております。ロマン館へ渡る橋の欄干に咲き誇るバラの花は圧巻です。

とき 5月29日(土)～6月13日(日)午前10時～午後3時

ところ 大正ロマン館前バラ園

内容 5月29日(土)=トロンボーン演奏(水野章さん) 30日(日)=①修復ピアノ演奏(原田緑さん) ソプラノ(神田由貴子さん) ②演奏会(岡崎音楽館) 6月5日(土)=ハーモニカ演奏(中津川ウィルハーモニカバンド) 6日(日)=①大正娘とバラ園フォトコンテスト ②修復ピアノ演奏会(西尾圭美さん・山口寧子さん) ソプラノ(高田真由美さん) 12日(土)=ギターマンドリン演奏(恵那南高校) 13日(日)=アコーディオン演奏(土屋敬三さん・古橋春男さん)

会場でバザー開設(五平もち・アイスクリーム・ミニバラ・バラ各種・陶器・野菜など販売)

時間 午前11時、午後2時

☎ 日本大正村 ☎54-3944



大正ロマン館前バラ園

市民マレットゴルフ大会

とき 5月30日(日)午前8時半(小雨決行)

ところ 永田マレットゴルフ場(長島町)

対象 市内在住者

競技方法 永田マレットゴルフコース36ホールで行い、最小打数で終了した者を上位とする。県規則および永田マレットゴルフ場ローカルルールを適用する。

料金 1,000円(昼食代含む)

締め切り 5月20日(木)

☎・☎ 永田MG協会(中切国夫) ☎・☎25-5335

パソコンサポートクラブ 6月期講座のご案内

【はじめてのパソコン講習】

とき 6月1日(火)、15日(火)、29日(火)午前9時半～11時半、6月9日(水)午後1時～3時

内容 Windows XPを使い、文字入力やマウス、キーボードの使い方など、パソコンの基本操作を丁寧に説明します。

講座経費 600円(別途テキスト代900円)

【Excel総合講座】

入門・中級のコースから希望選択してください。とき 6月10日(木)、17日(木)、24日(木)、7月1日(木)午後1時～3時

内容 Excel 2002を使用。入門=基本的な操作から表計算やグラフ機能を実践に即して学びます。中級=住所録や集計表にチャレンジします。

『みんなの掲示板』は、皆さんが主催するイベントや各種募集などを市内に周知するためのコーナーです。(営利目的・宗教・政治に関する掲載はできません) 掲載の申し込み・問い合わせ 企画課広報広聴係 ☎26-2111(内線319)

講座経費 入門=600円 中級=700円

テキスト代 入門=1,239円 中級=1,449円

材料費など実費としていただきます。USBフラッシュメモリーは880円で購入いただくか、持参してください

【共通】

定員 18人(定員になり次第締め切り)

ところ 恵那文化センター視聴覚室

締め切り 5月10日(月)午前10時から開講日前日まで。初めて受講する方は、5月24日(月)までに申し込み優先されます。再受講者の受講の可否は、5月25日(火)以降に連絡します。

バージョンが分からない方、ほかのバージョンの方は問い合わせください

☎・☎ パソコンサポートクラブ ☎090-4265-9727

「田舎子育て 里山子育て あそび場ガイド」 ガイドブックを配布しています

「子育て中のお母さんが、外に飛び出し仲間をつくり、地域の方たちと出会い、この自然豊かな恵那で子育てを楽しんでほしい…」そんな思いから、このガイドブックが出来上がりました。

ガイドブックは、こども元気プラザ「りんごのほっぺ」で、無料配布しています。ぜひ、ご活用ください。

☎ NPO法人みんなで子育てドロップス(代表駒宮優子) ☎090-8138-0001



迫力ある太鼓で卒業生にエール



和太鼓奏者・加藤拓三さんによる「卒業祝い太鼓の会」が、3月23日、長島小学校体育館で行われました。2日後が卒業式という6年生102人に、加藤さんは「祝い」「再挑戦」の2曲を演奏し、力強いエールを贈りました。

園児全員で待望の遊戯室を祝う



城ヶ丘保育園の遊戯室が完成し、園児166人と職員による「ささやかな竣工式」が、3月23日に行われました。この日は、職員の演奏や園児全員の歌、年長組の手話を交えた合唱などで、待望の完成を祝いました。

着物姿で日本大正村を散策



あけちまちづくりフォーラムの主催で、3月28日、「きものin大正村」が開催されました。着物姿の参加者は、各所でのひな祭りや、大正琴・三味線の演奏、もちつきなどを散策し、大正の雰囲気を楽しみました。

東野小野川地区に上水道が通水



着工から3年の期間を費やして、東野小野川地区の上水道が完成。3月25日、地元の関係者ら約30人の出席で、通水式が行われました。この水道の通水によって、16戸が安心して水を使えるようになりました。



人とまち
恵那の今を
お届けします



恵那特別支援学校が岩村町で開校
県立恵那特別支援学校が、これまでの大井町から岩村町に移転し、4月9日に開校となりました。開校式は、特別支援学校の児童生徒・保護者、地元関係者や学校関係者のほか、岩島中学校の生徒など、約550人が参加者して行われました。式典の最後に、岩島中学校生徒会長の岡田樹也くんが「皆さんとたくましく成長していきたい」と述べた後、2・3年生の生徒112人による合唱で、特別支援学校の皆さんを歓迎しました。

募集中

6月に1歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します。写真(なるべく一人で胸から上で顔全体が写っているもの)の裏に住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、両親の氏名、30字以内のコメントを添えて、5月17日(月)までに申し込みください。またケーブルテレビ放映の可否についてもご記入ください。申し込み多数の場合は先着順により掲載します。

申し込み・問い合わせ
〒509-7292 (住所不要)
企画課広報広聴係
☎26-2111 (内線319)

聡史さん・しのぶさん
世界をまたに掛ける男
おめでとう。
大井町
安藤 大翔くん

伸さん・恵里さん
1歳おめでとう！これから
おめでとう！笑顔
岩村町
手塚 理乃ちゃん

恭章さん・和代さん
いつも元気いっぱい
ほのちゃんがみんな大
好きだよ。
岩村町
森本 帆香ちゃん

正人さん・恵さん
和奏さん誕生日おめでと
う。笑顔食欲元気いっ
ぱいで大きくなつてね
長島町
可知 和奏ちゃん

明德さん・珠美さん
おめでとう。さつ君の
笑顔で入院中のパパも
早く元気になるね。
長島町
安田 颯希くん

隼人さん・奈々さん
お誕生日おめでとう!!
はるちゃんこれからは
さん外で遊ぼうね!
大井町
伊藤 大起くん

一さん・あいさん
初めてのお誕生日おめ
でと！これからも元
気でね！
明智町
成瀬 拓音くん

光孝さん・志保さん
1歳おめでとう♡姉
ちゃん兄ちゃん仲良
く元気に大きくなあれ
明智町
後藤 汰来くん

直樹さん・百世さん
1歳おめでとう！これ
からも元気がいっぱい健
やかに育つてね♡
明智町
寺澤 和奏ちゃん

和史さん・みかさん
1歳おめでとう！いっ
ぱい食べてパパみたい
に大きくなつてね！
串原
成瀬 悟也くん

慎一さん・優美さん
お誕生日おめでとう、
お姉ちゃんと一緒に元
気で大きくなつてね。
岩村町
伊藤 未来ちゃん

寛之さん・知沙さん
1歳おめでとう♡姉妹
で仲良く笑顔いっぱい
大きくなつてね♡
武並町
榎本 深笑ちゃん

HAPPY BIRTHDAY
えなの子 笑顔!
5月生まれのお誕生日
おめでとう!





輝く
67
恵那人
笠置町河合
樋田英二さん 70歳



ユズを使った特産品づくり 笠置の活性化を目指して

ユズの加工品には、ゆずもちゃんカステラ、ゆずポン酢、ゆずみそ、ゆず茶がある。つい最近、ゆずジャムが出来た。

笠置町河合の栃久保地区は、南向きの急傾斜地。ここでは、以前からユズの木を植栽し、自家用に消費していた。昭和25年、農家の女性が中心となり、みどり会を立ち上げ「ゆべし」作りが始まった。

10年ほど前、笠置町で町の活性化を考える組織として、笠置町活性化委員会ができた。樋田さんは、初めから参加し、現在は同委員会産業振興部の部長だ。特産品づくりを先頭に立って引っ張っている。

当時、担当になったことが、地域振興を考えるきっかけだった。「過疎化に歯止めを掛けるため、何かできれば」という思い。「自分の健康を考えながら、地域に貢献できれば」と樋田さんは取り組んでいる。穏やかな表情で話してくれたが、笠置を何とかしたいという思いには、熱意

を感じた。

同委員会では、まちおこしとして、マツタケ山、ホオノキの植樹などに取り組んだが、なかなかうまくいかなかった。そこで、昔からあるユズに着目した。

平成17年に、ユズ生産者を中心に、組合ができた。平成18年から、5年間で1000本のユズの木を植樹する計画が進行中だ。市内の菓子店、食品会社の協力で加工品を開発して、生産者や地元関係者で吟味しながら販売している。住民が地域振興を自ら模索し、ゆずの里が生まれ

「ユズがいろんなものに利用できることが分かったときや、新しい商品ができたときに喜びを感じる。商人ではないため、販路拡大は難しく苦労しているが、目標は、植樹した木から収穫した実を地域で加工、販売すること」と樋田さんは言う。

見つめる先の元気な笠置に、今日もまた一歩近づいている。

ゆべし=ユズの中身を繰り抜き味噌ゴマ、クルミと調味料(酒、みりん、砂糖)などを混ぜ合わせユズの中に入れて蒸し、形を整えながら2~3カ月乾燥させた地域の保存食

シルバー人材の恵南事務所がスタート



4月1日、岩邑いきがい会館で、(社)市シルバー人材センター「恵南事務所」の、開所式が行われました。スタートしたこの事務所は、岩村町、山岡町、明智町、上矢作町に設置していた連絡事務所を統合したものです。

スケート場の夏季営業が始まりました



4月11日、県クリスタルパーク恵那スケート場の夏季営業が始まりました。オープニングのこの日は、インラインスケートの滑走料が無料となり、スケート場には約400人が訪れ、スポーツに汗を流していました。

絶景を目指した三森山ウォーキング



岩村町富田地区の上流、三森山へのウォーキング大会が4月18日に開催。標高1,100mにある絶景を目指し、参加者約180人は汗を流しました。ゴールでは、岩邑新の会のメンバーらが、みそ汁を振る舞いました。

各地域協議会長が後期地域計画を答申



市内13地域自治区の後期地域計画が、3月29日、市役所会議棟で可知市長に各協議会長から答申されました。この計画は、総合計画後期基本計画の策定に合わせて、昨年5月28日に市長が諮問したものです。

五毛座で春の風を運ぶ地歌舞伎公演



第25回五毛座地歌舞伎公演が、4月10日に飯地町の歌舞伎小屋「五毛座」で開催されました。この日、地元の小中学生や保存会などによる歌舞伎が披露され、演じた役者に観客から声援やおひねりが投げ入れられました。

自転車シミュレーターで交通安全教室



山岡中学校の全校生徒150人を対象に、4月15日、交通安全教室を開催。この日、本田技研工業(株)浜松製作所の職員3人が、自転車シミュレーターを使った交通安全教育を実施して、生徒たちは危険予知を学びました。



もてなしの心で語る わが街

えな自慢

えな自慢
えな史 23

大井宿(おおいしゆく)

県内十七宿で一番のにぎわい



大井宿本陣跡

ひとくメモ

1993(平成5)年に結成された「中山道かたりべの会」は、訪れた方々のガイドをするなど、もてなしの心で活動している。

また現在、大井宿では「第2回中山道大井宿のれんアートコンテスト」が、5月16日(日)まで開催中。

大井宿は江戸日本橋から数えて46番目の宿場。かつては美濃路随一の宿場として栄え、全国でも9番目の盛況ぶりだったという。宿場内には、外敵を防ぐ目的で、街道が直角に曲がる枅形が6カ所造られているが、これほどたくさんあるのは中山道の宿場ではここだけ。また、大井宿本陣(高貴な人たちの宿泊所)は、1947(昭和22)年に全焼したが、表門、庭園は今も残り、往時の面影をしのぶことができる。なお、2000(平成12)年には、江戸時代の豪壮な商家古山家住宅を市が復元整備した「中山道ひし屋資料館」がオープン。重厚な町屋の建物を肌で感じながら、街道や宿場の知識を深めることができる。

ヒトツバタゴ

日本最大の木が存在

えな自慢
えな樹 24



国指定天然記念物、市木のヒトツバタゴ(笠置町)

ひとくメモ

ヒトツバタゴの名の由来は、「一つ葉(単葉)のタゴ(トネリコ)」から。同種のタゴは複葉であるが、ヒトツバタゴは単葉。また珍しい木であるため、ナンジャモンジャ、アンジャモンジャ、六道木、ナタオラシなど、各地でいろいろな名前と呼ばれている。

ヒトツバタゴはモクセイ科の落葉高木。日本では、対馬と、愛知県、岐阜県の木曾川周辺のごく限られた地域に自生している。雌雄異株で5月中旬から下旬にかけて細かい白い花をいっぱい咲かせ、遠くから見ると雪をかぶったように美しい。市内には多くのヒトツバタゴの自生地があり、その中で、笠置町姫栗の自生のヒトツバタゴは、本州では最初に国の天然記念物に指定されている。また、このヒトツバタゴは、国内では最も標高が高いところに咲くヒトツバタゴである。そのほかには、大井ヒトツバタゴ(大井町古瀬)、中野方ヒトツバタゴ自生地(中野方町太田、赤又駄)、明智町ヒトツバタゴ(新井、大真菰、大庭)が県の天然記念物に指定されている。



新井のヒトツバタゴ(明智町)

次号は5月15日号
発行日は5月14日(金)です

広報えな No.127
2010年(平成22年)
5月1日発行

発行 恵那市役所 / 編集 企画課広報広聴係
岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1 ☎26-2111 / ☎25-6150
<http://www.city.ena.lg.jp/> ✉info@city.ena.lg.jp

『広報えな』5月1日号、1部当たりの印刷経費は約9.5円(税込み)です。



恵那市安心安全メール配信システム
登録用QRコード
お問い合わせ 防災情報課(内線317)

『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。
この印刷物は石油系インキではなく、地球に優しい大豆油を使用したインキで印刷されています。

